

朝觀行幸時被儲御裝束事

北面立廻四尺屏風四帖敷高麗帖三枚京其東東西可隨敷同帖一枚國

〔七十一番歌合〕八番 右 筵うち

戀しさの心ものべぬ獨寢は九條むしろもせばからぬかな

〔續修東大寺正倉院文書二十八〕掃部所解 申請年料葛野席直錢事

合冊一貫八百七十五文且充廿四貫五  
百文付石萬勝

少屬土師

卅貫廣席一千五百張直枚別廿文

一貫八百七十五文運駄卅七匹半賃直料匹別五  
十文

十貫狹席直

右依例所請如件

天平廿一年二月十日

〔朝野群載四朝儀〕左辨官下 山城國

葛野筵百枚略中

右伊勢齋王暫住河陽宮鋪設料依例所宛如件國宜承知以頓宮儲内使早宛之官符追下

嘉承二年十二月四日

右大史紀朝臣

〔雅亮裝束抄〕もやひさしのてうどたつる事

もやひさしにひろむしろをしきみて、ひさしのなげしのうへにやま。とむしろ。をはしらにきりまはしてなげしにむしろのみ、をはしらにひとしくあて、釘してうちつく、

〔延喜式二十四〕凡左右京五畿内國調一丁輸錢隨時増減其畿内輸雜物者略中 二丁黒山席一枚長